

2017年11月22日

報道関係者各位

甲 南 大 学

## プレスリリース (2017.11.22)

本日、下記にかかるプレスリリースを別添資料のとおり配信いたしますので、ご査収いただき取材についてご検討くださるようお願い申し上げます。

### 記

- ① 言語教授法・カリキュラム開発研究会『北米の多文化共生社会の現状と未来』開催のお知らせ
- ② 「なでしこ Scientist トーク 甲南研究サミット講演会 甲南 VS 早慶～次世代医療への挑戦～」開催のお知らせ
- ③-1 「文化遺産がつなぐ世界と日本」開催のお知らせ
- ③-2 「ミュージアムを楽しもう いきものと芸術：魅せる展示へ」開催のお知らせ

#### ※③-1・③-2について

③-1 のシンポジウムを皮切りに、③-2 のシンポジウム「ミュージアムを楽しもう」を開催します。文化都市神戸にふさわしい、考古学から美術品など、博物館に関連する一連の公開シンポジウムとなっております。

《本プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部 担当：羽田

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546

Email: [kouhou@adm.konan-u.ac.jp](mailto:kouhou@adm.konan-u.ac.jp)

プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

以 上

# 国際シンポジウム

## 第44回言語教授法・カリキュラム開発研究会 全体研究会 北米の多文化共生社会の現状と未来

- ◆ 開催日時 2017年11月25日(土) 13時00分~16時50分
- ◆ 受付時間 12時30分
- ◆ 開催場所 研究会：甲南大学8号館1階811講義室
- ◆ 次第

13:00 開会の挨拶

国際言語文化センター所長 教授 津田 信男

### 第1部

(司会：国際言語文化センター教授 <sup>ディディエ・シッシュ</sup> Didier CHICHE)

13:05 « 基調講演 1 »

“Les Canadiens musulmans face à deux visions: l'interculturalisme et le multiculturalisme”  
「2つのビジョンに直面するムスリム系カナダ人：インターカルチュラリズムと多文化主義」

カナダ モンクトン大学(Edmonton Campus) 芸術・文学部教授 **Samira BELYAZID**

甲南大学 国際言語文化センター客員教授

兵庫海外研究ネットワーク(HORN)事業による共同研究者

(通訳：国際言語文化センター教授 中村 典子)

【プロフィール】ムンマド5世大学(モロッコ)卒業、パリ第五大学(フランス)大学院言語学博士課程修了(博士(言語学)、ラヴァル大学(カナダ・ケベック州)博士課程にも在籍した。専門は社会言語学で、メディアの言説分析、文化の多様性に関する研究も多数あり。日本語で読める論文に「カナダのムスリム」(丸岡節子・奥山倫明編『宗教と政治のインターフェイス』南山大学地域研究センター共同研究シリーズ・行啓社、2017)、共著、*Médias et construction idéologique du monde par l'Occident*, L'Harmattan, Paris, 2014 など。

—14:30~ 休憩—

### 第2部

(司会：国際言語文化センター教授 藤原 三枝子)

14:45 « 基調講演 2 »

「アメリカの多文化主義とトランプ現象」

成蹊大学法学部教授(元：甲南大学法学部教授) **西山 隆行**

【プロフィール】東京大学大学院法学政治学研究科修了(博士(法学))。専門はアメリカ政治。[主著]『移民大国アメリカ』(ちくま新書、2016)、『アメリカ型福祉国家と都市政治』(東京大学出版会、2008)、『アメリカ政治』(三修社、2014)、『マイノリティが変えるアメリカ政治』(共編著、NTT出版、2012)など。

15:40 « ミニ講演 1 »

「初期の日系カナダ人社会における文化的対立—キリスト教文化と仏教文化—」

国際言語文化センター准教授 **Stanley KIRK**

15:55 « ミニ講演 2 »

「英国の多文化主義とEU」

国際言語文化センター教授 **中村 耕二**

16:15 パネルディスカッション

16:35 質疑応答

16:45 まとめと閉会の挨拶

国際言語文化センター教授 伊庭 緑

16:50 懇親会

(於：iCommons Hirao Dining Hall South)

※準備の都合がありますので、ご参加いただける場合は、電話又はファックス、e-mailで、11月18日(土)までに、名前とご所属先を甲南大学国際言語文化センター事務室までご連絡ください。なお、参加費は無料です。

甲南大学 国際言語文化センター 電話 078-435-2326

(内線：2430)

F A X 078-435-2545

(e-mail : gengo@adm.konan-u.ac.jp)

# 第5回 なでしこScientistトーク

# 甲南vs早慶

## 甲南研究サミット講演会 次世代医療への挑戦

16:20~16:25 開会挨拶

16:25~16:45 講演 1

**疾患発症を調節するDNAのカタチ**  
~細胞内の環境に応じた非コードDNAの役割~

**建石 寿枝先生**

甲南大学 先端生命工学研究所(FIBER) 講師

16:45~17:05 講演 2

**免疫システムを調節する"脂質"たち**  
~疾患治療を目指した新規制御分子の創製~

**藤本 ゆかり先生**

慶應義塾大学 理工学部 教授

休憩

17:15~17:35 講演 3

**異分野の研究をブリッジして  
新たなサイエンスを展開する**  
~1細胞レベルのゲノム解析法の開発と応用~

**竹山 春子先生**

早稲田大学 先進理工学部 教授

休憩

17:40~18:05

**パネルディスカッション**

**甲南研究サミット講演会 甲南vs早慶**  
~次世代医療への挑戦~

講演者3名

+ 川崎 悠様

株式会社ファイン  
研究開発本部 商品企画開発課主任  
H23年度 甲南大学大学院フロンティアサイエンス研究科 卒業

18:05~18:10 閉会挨拶

2017年 **12月5日(火)**

本企画では、第一線でご活躍のScientistとともにFIBERの教員が、最先端の科学技術について分かり易く解説します。

今回は、3名のScientistが、研究内容、生命科学の未来、なでしこScientistとしてのライフスタイル、Scientistを目指す若い世代の方々へのメッセージ等について熱く語ります。

\*「なでしこ」とは、「大和撫子」と称されるように、女性の清楚な美徳を讃えて用いられています。大学・研究機関等での研究者のみならず、学生や一般の方にも聴講できる内容となっておりますので、「Science(科学)の美しさ」を皆様と一緒に感じ・考える時間になれば幸いです。

会場:

甲南大学  
岡本キャンパス

KONAN INFINITY COMMONS  
(iCommons) 2階 UnionL4

**入場無料**

申込方法は、裏面をご覧ください

【お問合せ】

甲南大学

ポートアイランドキャンパス事務室

Tel 078-303-1147 Fax 078-303-1495

Email fiber@adm.konan-u.ac.jp

http://www.konan-fiber.jp

## 建石 寿枝先生

甲南大学  
先端生命工学研究所 (FIBER)  
講師



### 疾患発症を調節するDNAのカタチ -細胞内の環境に応じた非コードDNAの役割-

あなたの外観や薬の効き方などの体質は、DNAの中にある塩基と呼ばれる部分の並び方によって決められています。  
最先端の研究では、DNAの塩基の並びではなく、DNAが自らのカタチを変化させ、遺伝子の情報の流れを制御している新たな機構が明らかになってきました。  
本講演では、DNAが遺伝子としてカラダの中で働く仕組みから、最近の研究で明らかになったDNAの役割について解説いたします。

## 藤本 ゆかり先生

慶應義塾大学  
理工学部  
教授



### 免疫システムを調節する“脂質”たち ~疾患治療を目指した新規制御分子の創製~

自然界には、様々な免疫を調節する分子があり、その“かたち”に応じて細胞表面のタンパク質に結合する事により、免疫システムを活性化したり抑えたりすることが知られています。私たちの研究室では、その中でも、以前はそれ程重要な役割を果たしていると思われていなかった“脂質”分子を含め、天然に存在するものやデザインされた脂質分子を、自由自在に純粋な形で作り得られた分子を用いることにより、免疫システムの調節機能を解析しています。本講演では、ミクロな世界のおさな違いが、大きな免疫調節活性の違いを生み出す様子を紹介いたします。

## 竹山 春子先生

早稲田大学  
先進理工学部  
教授



### 異分野の研究をブリッジして 新たなサイエンスを展開する ~1細胞レベルのゲノム解析法の開発と応用~

微生物からヒト細胞まで、一細胞レベルで解析を行っています。微生物では、創薬に資するような新奇な化合物を生産する微生物を生きたまま一細胞レベルでスクリーニングする技術の開発や、それらのゲノムの解析を可能にするマイクロデバイスの開発も行っています。また、医学研究では、様々な疾患と関係する細胞の遺伝子情報を一細胞レベルで解析を進めています。  
これらの研究は、化学、医学、農学、薬学、工学の先生方との連携下で進めています。

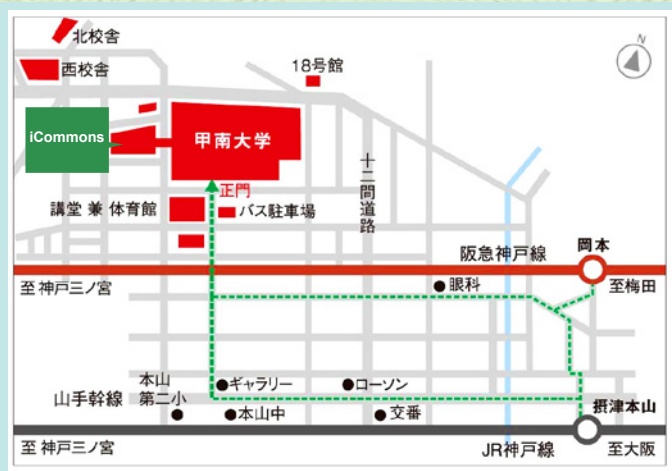
## 先端生命工学研究所

Frontier Institute for  
Biomolecular Engineering Research



FIBERホームページ <http://www.konan-fiber.jp/>

甲南大学先端生命工学研究所 (FIBER) は、生命分子工学分野において世界最高水準の研究・教育を実施する研究所として、2003年11月に設立されました。生命現象の分子レベルでの解明と、テーラーメイド機能材料の創製を目的とし、ナノバイオエンジニアリングを行っております。2009年4月より、FIBERを母体とするフロンティアサイエンス学部・研究科とともに神戸市ポートアイランドに研究拠点を移し、更なる研究の発展に努めています。



**会場** 甲南大学 iCommons 2階 UnionL4  
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1

**アクセス** JR 神戸線 摂津本山駅下車  
阪急神戸線 岡本駅下車  
北西へ徒歩約 10 分

**申込方法** 申込み欄に必要事項をご記入のうえ、FAX をご送信いただくか、  
お問い合わせ先 (E-mail: [fiber@adm.konan-u.ac.jp](mailto:fiber@adm.konan-u.ac.jp)) に必要事項をメールでご連絡ください。

**申込締切** 12月3日 (日)

下記の必要事項を記入して、甲南大学ポートアイランドキャンパス事務室宛に FAX 送信してください。

## FIBER 未来大学「なでしこ Scientist トーク」 FAX 送信用紙

**FAX番号: 078-303-1495**

* ご所属				* ご役職			
フリガナ ご氏名							
* 連絡先	ご住所	〒					
	TEL				FAX		
	E-mail						

\*可能な範囲でご記入ください。

※本申込書によりご提供いただきました個人情報につきましては、本講座開催に関する管理及び連絡に使用いたします。

甲南大学 先端生命工学研究所が実施いたしますセミナー等のお知らせにのみ使用させていただきます。 ■個人情報方針 [http://www.konan-u.ac.jp/frame/privacy\\_index.html](http://www.konan-u.ac.jp/frame/privacy_index.html)

# 文化遺産がつなぐ 世界と日本

——保存・修復・活用と国際交流——

<プログラム>

12:30 開場

13:00 開会

日時：12月10日（日）

12:30 開場 / 13:00 開会

場所：甲南大学岡本キャンパス

iCommons 地下1階 iStage

文学部独立 60 周年記念シンポジウムの開催によせて

趣旨説明

13:20 報告1 ファブリツィオ・ズラヴァッツィ(ミラノ大学)

「イタリアにおける修復の原則

～考古学分野での修復・自然災害・戦争被害～」

14:50 報告2 ロッセッラ・メネガッツォ(ミラノ大学)

「イタリアにおける日本美術の普及促進と意義づけ」

16:30 全体討論 論点開示 田口かおり(東海大学)

17:30 閉会

私たち一人一人を歴史と文化につなぐ文化遺産ですが、国際化する現代、国境を越えて共に生きる私たちが文化遺産に関わるとはどのようなことでしょうか。海外での文化遺産への考え方と実践を知り、同時にその一つとして日本の文化財が海外でどのような努力に支えられているかを知ることが大切なヒントになるでしょう。文化遺産の国・イタリアから二人の専門家をお招きし、ともに考えます。

※当日はイタリア語・日本語通訳がつきます。

# ミュージアム を 楽しもう

いきものと芸術：魅せる展示へ

一般公開  
参加無料

12/23 (土) 10:30~11:50 (10時開場) | 甲南大学5号館1階511教室

■ 10:30-10:35 はじめに

■ 10:35-11:05

「須磨海浜水族園における展示の工夫」

馬場 宏治 氏 (神戸市立須磨海浜水族園)



リニューアルしたさかなライブ

■ 11:05-11:35

「美術館は何ができる

～多分野連携から生まれる取り組み～」

作花 麻帆 氏 (西宮市大谷記念美術館)



美術館×植物! アートで植物採集 展示

■ 11:35-11:50 総合討論

主催：甲南大学理工学部生物学科、甲南大学文学部人間科学科・歴史文化学科

共催：甲南大学統合ニューロバイオロジー研究所

協賛：甲南大学「ビッグヒストリーを基軸とした文理融合型学際教育プログラムの開発」研究プロジェクト

問い合わせ：甲南大学理工学部生物学科・今井 (担当教員) himai@center.konan-u.ac.jp